管機連Daily News

2026年10月14日（水）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆世界成長3.1%、IMF26年予測 中東緊迫で27年もインフレ率4%超

・国際通貨基金（IMF）は2026年の世界経済の成長率を3.1%と予。7月時点から0.1ポイント引き上げた。人工知能（AI）への投資拡大やエネルギー供給混乱への対応が経済を支えると見通し。インフレ率は27年にかけて4%を超すと予想。IMFは経済見通しを四半期ごとに見直す。27年の成長率は7月時点と同じく3.4%に加速すると予想した。

◆5年後の物価予想、3期連続10%超え 日銀9月調査

・日銀は9月の生活意識に関するアンケート調査を発表。5年後の物価が今と比べ何%程度変化するか聞いたところ、平均値は10.1%の上昇となった。3四半期連続で10%を超える高い伸びが続いている。日常で目にする食料品の値上げなどが、個人の中長期の予想物価観を押し上げている可能性がある。前回6月調査では10.8%の上昇だった。

◆特定技能「給食」「介護」の採用継続へ 政府が区分変更案、制度に綻び

・人手不足業種で外国人を雇用できる特定技能制度を巡り、政府が「医療・福祉施設の給食業」の受け入れ再開と「介護」の停止回避のため、受け入れ分野の区分を変更することが分かった。全体の上限を変えずに必要人数を確保する思惑がある。出入国在留管理庁などが調整している。10月中旬の有識者会議で議論し、年内の閣議決定をめざす。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆富士通、仮想空間で「ゴジラ」襲来に備え CEATECで防災技術を披露

・富士通はIT見本市「CEATEC2026」で怪獣「ゴジラ」を題材にした都市防災のシミュレーション技術を展示。仮想空間上に人流や交通状況を再現することで避難計画の検証などに役立てる狙い。東京湾から上陸したゴジラが川崎駅周辺に約60分後に到達すると想定し、居住者やイベント参加者など約25万人を安全に避難させる計画を立てる。

◆原油・ナフサ調達のホルムズ海峡代替輸送費補助 3法案を閣議決定

・政府はエネルギーの安定確保に向けた3つの法案を閣議決定。原油やナフサ（粗製ガソリン）の輸入企業が中東・ホルムズ海峡を経由しない輸送をする際に補助を出す交付金制度を新設。開会中の臨時国会で議論。石油元売り会社や商社が調達計画を決め、ホルムズ海峡に過度に依存していないと国が認めれば交付金を出す。

◆シャープ、水を再利用できる洗濯機 使用量96%削減で避難所向けに

・シャープはIT見本市「CEATEC（シーテック）2026」で、水をろ過、浄化して繰り返し利用できる洗濯機を公開。水の使用量を96%削減でき災害時の避難所などでの活用を見込む。2027年春の発売を目指す。独自のフィルターで洗濯後の水をろ過し、次の洗濯に再利用。排水の必要がないほか、アルカリイオン水を使うことで洗剤も不要に。

≪ 注目商品 ≫

■パーパス 業務用生ごみ処理機「PSK-23W」



・電気式生ごみ処理機のモデルチェンジ品として、デザイン性・省エネ性・操作性を追求した新機種となる「PSK-23W（エコドライサイクロン）」を発売 。（外観のコンパクト化や構造の刷新を行い、環境性能と使い勝手を大幅に向上させた次世代モデル 。

■コイズミ照明 準耐火構造に対応する調光調色ダウンライト



・やわらかなグラデーションの光が天井になじみ、建築の美しさを引き立てる「arkia」ダウンライトシリーズに、準耐火構造に対応する調光調色タイプの6機種を新たにラインアップ。光が均一に広がる拡散タイプと、配光を制御する中角タイプの2種類。

■東芝ライフスタイル、ドラム式洗濯乾燥機「ZABOON」



・ドラム式洗濯乾燥機「ZABOON（ザブーン）」の新製品として、業界トップクラスの洗濯容量13kg・乾燥容量7kgを実現した「TW-137XP6」を発売。ゆとりのある洗濯槽内で大風量により衣類を舞い上げ、乾き残しを防いでしっかり乾かす。